

 **平生町**
議会だより

第 128 号

2013 年 7 月 26 日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 福田 洋明
編集 議会広報広聴調査特別委員会



子ども会連合会
12m のジャンボ巻ずしに挑戦!

6 月	補正予算・議会構成……………	2・3ページ
議会報告	いっぱん質問……………	4ページ
いっぱん質問	議会の動き・広報委員会の紹介…	12ページ

簡易水道事業の統合

平成25年第4回平生町議会定例会が、6月18日から25日までの8日間の日程で開かれました。

提案された議案は、条例1件です。議案は全会一致で可決されました。

一般質問では、8人の議員が町政の諸課題の取り組みについて質問しました。

簡易水道の統合は、佐賀簡易水道・尾国簡易水道及び佐合島飲料水供給施設が田布施・平生水道企業団への統合であります。

現在、本町には蔭平・日向平飲料水供給施設があります。同施設についても、平成27年6月の統合に向け、関係施設の整備を行っているところであります。改正の内容につきましては、田布施・平生水道企業団の水道料金が改定されますので、蔭平・日向平飲料水供給施設の水道料金につきましても、同一地域、同一料金とするために同水道企業団の水道料金と同額とするものです。

水道料金（一箇月当たり）			
メーター口径	基本水量	基本料金	従量料金
13mm	8 m ³ まで	1,512円	1箇月の使用水量が、メーター口径13mmから25mmの基本水量を超える場合は、その超える1立方メートルごとに241.5円とする。メーター口径40mm以上の場合、210円とする。 ただし、5,000立方メートルを超える場合は、その超える1立方メートルごとに189円とする。さらに、20,000立方メートルを超える1立方メートルごとに178.5円とする。
20mm	8 m ³ まで	1,512円	
25mm	8 m ³ まで	1,512円	
40mm	20 m ³ まで	4,200円	
50mm	20 m ³ まで	4,200円	
75mm	20 m ³ まで	4,200円	
100mm	20 m ³ まで	4,200円	
125mm	20 m ³ まで	4,200円	
150mm	20 m ³ まで	4,200円	
臨時給水	1立方メートルにつき 525円(従量料金)		

第2回・第3回 臨時会

平成25年3月29日に第2回平生町議会臨時会が開かれました。

議案は1件、平生中学校普通教室棟耐震補強事業の監理業務費に係るものです。

補正額は194万円の追加でした。

平成25年6月3日に第3回平生町議会臨時会が開かれました。

議案は補正1件、承認2件、報告2件です。

補正は山口県瀬戸内海区漁業調整委員会委員の補欠選挙に係るものです。

補正額は88万1000円の追加でした。

承認2件は平生町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の専決処分事項と平生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分事項です。

2件とも承認されました。

報告2件は平成24年度平生町一般会計繰越明許費繰越額、平成24年度平生町土地開発公社の経営状況です。





産業文教常任委員会

副委員長 柳井 靖雄
 委員長 久保 俊一
 河内山宏充
 河藤 泰明
 松本 武士
 岩本ひろ子



総務厚生常任委員会

副委員長 平岡 正一
 委員長 村中 仁司
 福田 洋明
 中川 裕之
 細田留美子
 淵上 正博

常任委員会は、行政の事務に関して調査する権限を持っており、委員会の活性化と機能の充実をはかる為に項目を決めて、積極的に閉会中の調査を行うとともに、陳情等を審査しています。

議会運営委員会は、会期・議事日程・会期の延長・休会・特別委員会の設置・改廃・議会の関係の条例・規則の制定など、議決を必要とする案件の取り扱いを協議し、議長の諮問に答えるなど議会の円滑な運営を図るため設置されています。



議会運営委員会

副委員長 柳井 靖雄
 委員長 久保 俊一
 河藤 泰明
 細田留美子
 村中 仁司
 淵上 正博

総務厚生常任委員会における閉会中の調査案件は、地域振興・防災対策・行財政改革・税の徴収対策・地域福祉・環境問題・国民健康保険の7項目です。

産業文教常任委員会における閉会中の調査案件は、観光振興・公共施設の維持管理・学力の向上・学校施設における児童生徒の安全確保・公民館活動の充実・産業振興の6項目です。

一部事務組合	田布施・平生水道企業団 (3)	柳井 靖雄	久保 俊一	中川 裕之
	熊南総合事務組合 (3)	細田留美子	河藤 泰明	松本 武士
	周東環境衛生組合 (2)	河内山宏充	淵上 正博	
	柳井地区広域消防組合 (1)	中川 裕之		
	柳井地域広域水道企業団 (1)	河内山宏充		
監査委員 (1)	平岡 正一			
農業委員 (2)	岩本ひろ子	村中 仁司		



河藤泰明 議員

いっばん質問



が聞きたい

質 役に立つ防災計画を！！

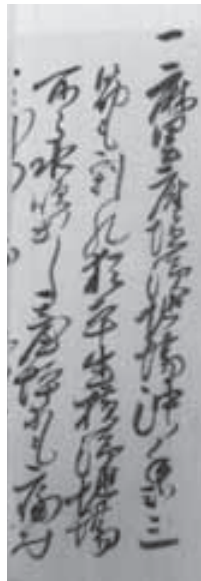
答 様々な要件を取り込んで進めたい

質

地域防災計画見直しの基準と進捗状況は。県の文書館にある古文書に平生村の液状化現象と、室積村の津波の記述がある。歴史的な事実からも、計画を修正してはどうか。災害時の給水活動確保のための支援体制を盛り込んでどうか。また、一人でも多くの町民の生命と財産を守るためにも、住民の取るべき行動をわかりやすく明確に記述してはどうか。

答

町長 国に準じて県が作成したものと整合性をはかりながら進めている。地理的条件、歴史的な事実に基づいて資料も参考に作業したい。水道企業団・広域水道等との連携によって水を確保したい。町としての考え方を示していきたい。住民の自助努力をしっかりと補完するよう、行政としてできるだけ対応をしていく。



一麻里府塩浜地場沖ノ手式三
筋も割れ、猶平生横浜地場
所々水吹き出し 台坪等も痛み

9 諸書617 大地震報告書より

質 平生ファン倶楽部の再整備を

答 十分検討していく

質

当時、先進的な取り組みも時代の急速な変化に対応できていないのではないかと。今こそ「平生ファン倶楽部」が本気を出す時だと考える。これまで築いてきた会員さんとのネットワークを活用し、都市部での交流会の開催や、情報交換の仕組みなど、更なる整備はできないか。また、町長の人生のネットワークと平生ファン倶楽部を活用し雇用場の作れないか。

答

町長 平成12年に、本町出身者、町外のゆかりのある方々が情報交換しながら輪を広げていくというスタートしたものの、広報や県の広報紙や特産品情報を送付したり、去年からはフェイスブックも開設している。もう一度、再構築をし、活性化を図って、地域のネットワークを強化していく方向で再挑戦をする時期である。あらためて十分検討していく。



フェイスブック平生ファン倶楽部の表紙



渕上正博 議員

質 原発交付金に頼らない町づくりを

答 現実を踏まえて対応する

質

福島原発事故から2年が過ぎたが、事故の収束はみえない。この現実を目の当たりにしても中国電力は、上関原発を建設しようとしている。一方、国民の大多数は原発に頼らないエネルギーを求めている。光市長は、原発交付金は受け取らないと表明した。

答

町長の 福島の発電所の状況はご指摘のとおりだ。上関原子力発電所計画は先行き不透明な状況であると受けとめる。交付金をめぐる動きは全くない。町政を運営する立場から、交付の用途が立たないものをあてにして、運営していくことはありえない。現実を踏まえて対応していく。



震災の被害状況

質 町民財産の確保を

答 年次的に整備している

質

建物火災は、消火が少しでも遅ければ、全が灰になる。町民の財産を守るためには、初期消火が大事である。その対策の一つとして、町内に張りめぐらされた水道施設、消火栓の活用も一つの方法である。もう一点、町内の1/3を占める50ミリ以下の配水管の防火対策は。

答

町長の しっかり活用でき、生かされる水利を考えたい。各々の地域の状況を踏まえて対応していく。総務課長 現在108カ所の防災水槽を設置している。消火栓も含め年次的に整備している。消防水利は、河川、堀、池、海等も含め、その地域にあった取り組みをしていく。



老朽化した防火水槽



岩本ひろ子 議員

質 今後の町の財源確保の取り組みについて

答 総合的な取り組みをしていく



平生町内のメガソーラー

質

町の平成25年度の予算組みでは財政健全化に向け取り組んでいるが経費削減・借入金返済だけでは町の発展は考えられない。そこで国や県が「産業力・観光力の増強」を掲げられ予算を重点配分する方針を示している。町が発展していくためには町だけでは難しいので国や県の支援が受けられるような計画が必要。そこで町の財源確保が出来る取り組みについて問う。

答

町長

第4次総合計画・第5次の行革大綱と、これに基づいて活性化を図りながら財源確保をしていく取り組みを進めている。一方では、地域が元気になるように活性化対策地元の企業を含めて力が発揮できるように町がしっかりとバックアップしていく体制を引き続き取り組んでいく。

質 観光客に向けての取組みについて

答 観光戦略・振興プランを検討する

質 昨年の県内観光客数は4.4%増の2820万7074人でした。その中でも平生町は県内で最下位という結果となっています。当町の今年度は、ひらお産業まつり・自転車ロードレースやイベントの計画があり、観光客数の増加が見込まれると思いますが、長期的に観光客数を増やして最下位から抜けられる計画が必要。そうした取り組みについて町長の意見を問う。

答 町と観光協会を含めて事業部会を中心に事業計画を立て意欲的に取り組んでいる。当面は観光客数を倍増していくように進め、中長期的な視点からは観光戦略・振興プランを検討し又準備も、これから進めていきたいというふうを考えている。観光客の入りについての調査をしてデータを正確性を期しながら着実に増やしていく取り組みを展開していく。

2012年山口県内市町別観光客数 (単位:人、%)

区分	観光客数計	増減	前年比
下関市	6,624,355	676,988	111.4
山口市	4,283,248	△842	100.0
岩国市	3,342,953	365,925	112.3
萩市	2,334,062	54,266	102.4
防府市	1,837,821	149,401	108.8
美祢市	1,396,546	△8,689	99.4
周南市	1,248,863	164,551	115.2
長門市	1,187,670	△28,325	97.7
周防大島町	936,972	△2,523	99.7
光市	920,650	48,920	105.6
山陽小野田市	909,370	74,394	108.9
柳井市	753,378	17,258	102.3
宇部市	738,614	90,200	113.9
下松市	718,653	756	100.1
田布施町	364,513	36,799	111.2
和木町	203,283	14,038	107.4
阿武町	198,235	6,014	103.1
上関町	157,528	84,745	216.4
平生町	50,360	5,878	113.2
山口国体・山口大会	0	△567,673	皆減
総計	28,207,074	1,182,081	104.4

*△はマイナス



平岡正一 議員

質 「参加と協働」のまちづくり取り組みは何時からか

答 9月を目途に進めている

質

参加と協働のまちづくり条例が出来、実行するための指針づくりがすすんでいるが、条例づくりから二年近くになる。指針は何時までにつくり、その実行は何時になるのか。参加と協働の理念は今日の行政をすすめる中でも生かすべきと思うが、理念がどれだけ実行されているか疑問に思う事が多い。組織のあり方を含めて早期に方針を決めて実行されるべきと思うかどうか。

答 町長

参加と協働推進プランは地域の自主組織に対する支援、又社会のボランティア等を含めて貢献活動頂く方々の環境づくりこうした町づくりの指針を示し9月をめどに検討委員会で協議を進めている。地域で取り組む協働事業に向けての推進体制を一方では整備をしていくことが大きな課題であり、あわせて取り組みを進めていく。



協働のまちづくり講演会

質 学力の向上、通学路の安全対策

答 検討し次年度に備える

質

学力の二極化がすすみ、学力テストの正答率に二峰分布の傾向があるようだ。小学校低学年の取り組みが重要だと思う。特に学校と家庭のつながりを深める必要があると考える。取り組みはどうか。中学校の自転車通学は左側通行のルールを守って実行されているが再検討されるべきと思う。横断歩道の整備、整備された歩道の活用、朝の通勤時間帯の車両規制など取り組むべき課題が多くある。

答 教育長

平生小学校において今年度は家庭訪問をしないということでしたので、参観日、学級懇談、個人懇談を5月にしております。しかし参加率は、1割を切るという状況でした。家庭と学校の連携の関心が薄いようなので今年度色々検証し次年度に備えていきたい。通学路については現状で横断歩道だけ作ればよいという問題ではないと思いますので歩行者にとって安全かどうかという点で、安全対策を十分考えた上で対応していく。



朝の登校時の安全みまもり隊



久保俊一 議員

質 平成32年元気な平生の実現は？

答 基本構想・目標を着実に取り組む！



人とまち「きずな」でつなぐ元気な平生

質

今日本は『強い日本・経済再生・誇れる国』を安倍首相は掲げ、山本県知事も『輝く夢あふれる山口県の実現』に取り組まれ、平生町長に於かれては『人とまちきずなでつなぐ元気な平生』を指されて3年目になるが、現在の進捗状況と今後の計画・予定を問う。

答

町長

基本構想10年間を設定し、これを具現化するために、3年間の実施計画を組んで、毎年事業の評価を実施し、予算編成に反映させて事務事業評価制度を活用し、目標に向けて、着実に取り組むことが、住みよさが実感できるまちにつながる。5つの目標は、10年間に達成する大きな目標で、着実に実践することが、課せられた課題だと思っている。

質 快適で住みよい活気に満ちたまち？

答 国・県等へ要望。最大限の努力！

質

日常生活に身近な道路が、廃屋により通行等が、年々と危険度が進行してきて、誰もが安全に暮らすことができない実感はなく、何か安心できる廃屋対策はないのか問う。

答

町長

快適なまちづくり条例で指導し・要請し・勧告行為まで対応したが、強制措置が取れない。町として、県・国へ町長会等を通じて正式に要望もしている。残念ながら、現状は大変厳しい状況が続いている。地元企業・商工業に対する振興で対応を取っているが、限界があることも事実である。これからも最大限努力する。町内主要企業等の訪問活動を年2回実施している。



6月15日に倒壊し一時車通行不可



細田留美子 議員

質 「平生町の日」の制定を

答 プランの策定の中で協議

質

人口減少時代に入り財政も厳しい中、住み良い町にするには住民の協力が不可欠だ。町民みんなで行動する日があれば連帯感や帰属意識が生まれる。町民や関係者に対して町への理解と関心を深め愛着と誇りを育てる取り組みが欲しい。魅力あるまちづくりを進めていくために「平生町の日」を制定する考えはないか。

答

町長

町民全体で取り組むことで参加、協働の意識を高めていく有意義な提案である。現在進行している協働推進にむけてのプラン策定の中で協議していく。



きらら博での平生町の日イベント

質 住宅環境の整備

答 長寿命化計画で対応

質

町営住宅194戸のうち昭和37年から同50年までの建設分が7カ所に120戸ある。老朽化した住宅の再編整備と今年度計画にある長寿命化計画の内容を質問する。

また、建て替えの場合若者や高齢者、IJUターナー者への対応は考えているか。

他人と共同で住むシェアハウスの整備などの助成事業はどうか。

答

町長

老朽化が進んだもので空き家になったものは用途廃止していく。修繕が必要なものは長寿命化計画により適切に取り組んでいく。

答 建設課長

若者や高齢者への対応は住民の意識調査や民間事業所の動向を考慮しながら計画の中で検討していく。

公営住宅を多世代型シェアハウスに検討しているところもあるが今後研究していく。



ホームタウン平生 R-1



松本武士 議員

質 (独) 水産大学校田名臨海実験実習場について

答 存続の要望は出したが廃止される予定である



田名臨海実験実習場

質

本年度をもって閉鎖される予定の田名臨海実験実習場について、以下の3点を質問する。

- ① 町長の思い
- ② 前政権による事業仕分けによって閉鎖が決まったようだが、決定後、町長はどのように対応したのか、また、政権交代後、決定に変わりはしないのか。
- ③ 平生町に払い下げという話があった場合有効活用への考えはあるか。

答

町長

① 極めて残念に思っている。
 ② 平成22年と24年7月それぞれ事業仕分けによって閣議決定された。存続に向けて、農林水産大臣に対する要望、当時の政党内閣、関係する政党を含めて強い要望を出した。
 ③ 農林水産省は、平成22年2月廃止の決定をした。土地・建物は財務省に所轄がえし、処理される。施設は廃止される方向で検討されている。平生町へ払い下げの話はない。

質 防災備蓄について

答 体制強化・情報公開を進めていきたい

質

- ① 内閣府が発表した「南海トラフ巨大地震対策最終報告」では、家庭用備蓄を3日分から1週間分に増やすように求めた。平生町の備蓄状況はどうか。
- ② 平生町の備蓄状況が情報公開されていない。行政協力員会議の際、配信してはどうか。
- ③ 平生町の防災備蓄を増やす予定はあるのか。
- ④ 住民の方に備蓄状況のアンケートをし、備蓄状況を把握してはどうか。

答

町長

① 平成7年、11年度地域防災計画を見直し、改定を行ったが、決して十分な体制であるとは認識していない。
 ② 積極的な情報提供の心がけていきたい。
 ③ 再度、点検しながら体制強化を含めて、地域の防災備蓄品の整備を進めていきたい。
答 総務課長
 ④ 防災訓練、出前講座等の機会に取り組んでいきたい。

防災資材備蓄場所

平成9年度整備	平成10年度整備
平生小学校	曾根公民館
佐賀小学校	佐賀公民館
平生中学校	宇佐木コミュニティセンター
中央公民館	壱ヶ浜コミュニティセンター
大野コミュニティセンター	田名児童館
尾国コミュニティセンター	佐合島コミュニティセンター

防災セット内容

品目	仕様	数量
アルミ製救急箱	W335/D195/H220mm	1
外用救急セット	包帯・カットパン等	1
災害救助用毛布		10
防水シート	3.6m × 5.4m	10
コードリール	15A.30m (GT30)	1
非常用食品	カンパン 1.8l 缶 64食	2
ラジオ付きランタン		1
懐中電灯		5
アルカリ乾電池	単 1	20
ポリタンク (飲料水袋 100枚)	20 L (10 個)	5



中川 裕之 議員

質 町の財源確保について

答 国・県等に申し上げていきたい

質

本町における普通財産、行政財産、あらゆる建造物、構築物、遊休土地等々、その他すべての町有財産（一部県有財産も含む）の有効利用、活用をして、財源の創出、確保にとりくんでもらいたい。

答 町長

行政財産の貸し付けが可能な場合は、「庁舎その他の建物及び附帯施設並びにこれらの敷地について、その床面積又は敷地に余裕がある場合、その使用を許可することができると」ということで4つに限定されている。



丸山海浜パーク付近の高くなった防潮堤

投 稿 コ ー ナ ー

自生のふきに 幸せ味わう

平生町大野北

岩見喜代子

最近ハウスクレイム栽培が盛んになって季節の野菜が分からなくなりました。しかしわが家の竹やぶにはふきが一面に広がっている。幸せをもたらす緑のジュータンで今が最盛期だ。

一寸酢を落とし熱湯でさっと湯で、信田巻や牛肉を芯に巻き甘からく佃煮風に煮付けると味も香りも新鮮でおいしい。旬のものをおいしく頂ける事の幸せを今しみじみと味わっている。



議会広報広聴調査特別委員会

よろしくお願ひします。
 私たちが今後2年間
 議会だよりをお届けします



前回に引きつづき、当選回数の若い私達6人が今回からの「議会だより」を担当します。気軽に手に取ってもらい、読んでいただける広報づくりをめざして頑張ります。投稿コーナーなど、みなさんのご意見をお待ちしています。

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 委員長 | 副委員長 | | | | |
| 中川 裕之 | 岩本ひろ子 | 久保 俊一 | 松本 武士 | 河藤 泰明 | 村中 仁司 |

議会の動き

(H25・3/7)
(H25・6/7)



25年	3月7日	第1回定例会	5月30日	総務厚生常任委員会
	3月7日	議会広報広聴調査特別委員会	6月3日	第3回臨時議会
	3月7日	議会運営委員会	6月5日	議会全員協議会
	3月18日	議会全員協議会	6月7日	議会全員協議会
	3月26日	議会広報広聴調査特別委員会		
	3月29日	第2回臨時議会		
	4月9日	議会広報広聴調査特別委員会		
	4月16日	議会広報広聴調査特別委員会		
	5月27日	産業文教常任委員会		

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内
 ・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
 紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

平生町議会、今年もクルビズで6月定例会を迎える季節となりました。今月より議会構成も再編され各委員も新たにスタートしました。幸い議会広報広聴特別委員会は引きつづき当選回数の若い同じメンバーの議員で構成されて2年間担当することになりました。これからも、みなさまに愛される斬新な議会だよりをお届けできるように委員会全員で頑張つてまいります。

6月議会是一般質問も近年最多の8名の議員がいろいろな分野での質問がありました。今年度採用された新人職員も議会を傍聴して研修しました。白熱した定例会であったと思います。

5月の末には内閣府より南海トラフ巨大地震に関するまとめの最終報告も発表され、海岸を多く有する本町としては防災対策を中心にあらゆる安全・安心の町づくりに広報委員会はもとより、各委員全員、全力で取り組んでまいります。ご指導と叱責よろしくお願ひ致します。

中川裕之